



# 警告

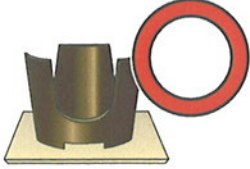
- ・ご使用前に必ずお読みください。
- ・燃料を使い切るまで本紙を捨てないでください。

## 【固形燃料の使用方法】

用途外に使用しないでください。[用途：料理・鍋物・焼き物・水炊き]

アルミ箔付の燃料には弊社推奨器具をご使用ください。

### 正しい使用例



### 誤った使用例

アルミ箔付の燃料には火皿及び火皿付（一体型）コンロを絶対に使用しないでください。固形燃料が異常過熱し、大変危険です。



アルミ箔付の燃料は、アルミ箔をはがさず、アルミ箔を下にしてそのまま固形燃料用コンロにセットしてください。

### 正しい使用例

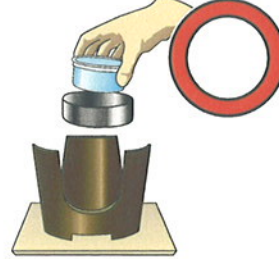


### 誤った使用例



アルミ箔無しの燃料につきましては、火皿に入れて、ご使用ください。

### 正しい使用例



### 誤った使用例



コンロにセットしてからロングライターで着火してご使用ください。また、敷板を忘れずに敷いてください。

### 正しい使用例



### 誤った使用例

燃焼中は高温になり、テーブルが焦げるなどの危険性があります。



## 【使用上、特に注意していただきたいこと】

※裏面も必ずお読みください。

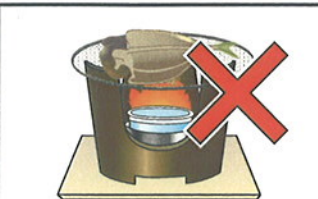


固形燃料の表面から底面までの距離は、3～4cm以上（およそ指2本分）間隔があく器具を選定してください。

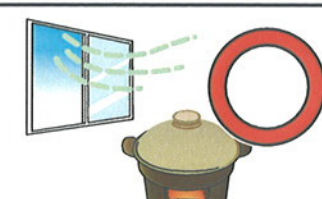


煮こぼれに注意してください。（煮こぼれすると固形燃料の燃焼が不安定になりますので料理にあった大きさの器具を選定してください。）

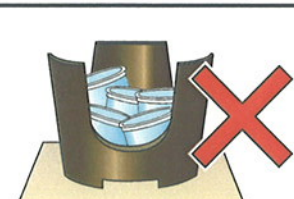
弊社では、『セーフティコンロ、または丸コンロ、田舎鍋、敷板（凹凸の無いもの）』を推奨器具としております。



焼網を使う場合は、食べ物に直接火が当たらないようにアルミホイルを巻くなどして、直火は避けてください。



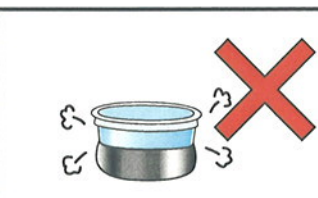
密閉した部屋では使用せず、必ず換気してください。



燃料を継ぎ足さないでください。また、複数個同時に燃焼させないでください。



燃焼中、燃料を箸などで突っつかないでください。飛び火またはコンロが転倒したりして危険です。



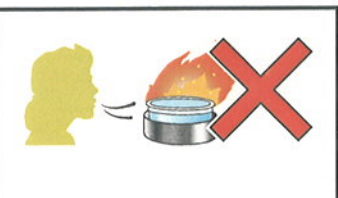
サイズの合わない火皿に無理に押し込んで使用しないでください。



紙鍋の料理では、25g以下のサイズの燃料をおすすめします。大きなサイズの燃料では火力が強すぎて、紙鍋が燃える恐れがあります。



料理や食べ物と間違わないように十分注意してください。ペット等の生き物も食べないように注意してください。失明、または生命に関わる恐れがあります。



固形燃料の火は吹き消さないでください。緊急時は(※)消火器や大量の水で消火してください。

(※) 消火器はりん酸塩類等、炭酸水素塩類等を使用していない消火器以外のものを使用してください。

本品を安全に正しくお使いいただくために

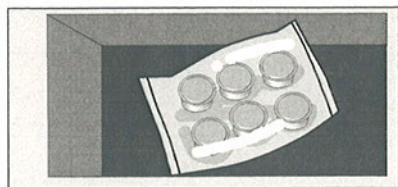


## 警告

- ・ご使用前に必ずお読みください。
- ・燃料を使い切るまで本紙を捨てないでください。

### 【保管上の注意】

- 固形燃料が入っていた包装袋や缶に入れ、蓋をしっかりと閉めて風通しのよい冷暗所に保管してください。
- 取扱担当者以外の人や子供の手の届かないところ、火の気の無いところに保管してください。
- 固形燃料の品質は変わりやすいので、開封後は早めに使用してください。



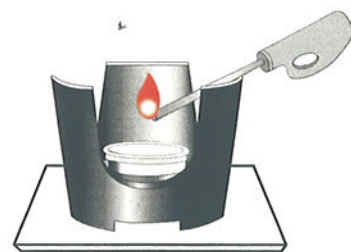
### 【応急処置】

- 誤って食べた場合・・・直ちに多量の水、または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診察を受けてください。
- 皮膚についた場合・・・(石けん) 水で十分に洗い流してください。
- 目に入った場合・・・直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、異常のある場合は眼科医の診察を受けてください。
- 目が痛くなった場合・・・直ちに清浄な空気を入れて換気を行ってください。

### 【使用上の注意】

※裏面も必ずお読みください。

- 燃えやすいものや熱に弱いものの近くで使用しないでください。
- 袋入りタイプのをライターなどの火で焼き切らないでください。
- 陶器製の火皿は割れるので使用しないでください。
- 出来るだけ飛び火にくいコンロを使用し、コンロの向きを飛び火がかからないように置いてください。
- 結露している場合は鍋底を拭いてから使用してください。鍋が結露していると鍋底に水分が付着し滴ることがあり、固形燃料の燃焼が不安定になります。
- セッティングする時など固形燃料を取扱う場合はゴム手袋を着用し、使用後はよく手を洗い、クリームをぬる等のお手入れをおすすめします。
- 燃焼中、燃料及びコンロの持ち運びをしないでください。
- コンロの中に紙などの可燃物を入れないでください。
- 固型用ランプに燃料を入れ、蓋の開閉で炎をコントロールしないでください。
- 廃棄する際は固形燃料が燃え尽き、アルミ箔、火皿、コンロ等が十分に冷めたことを確認してから処理してください。
- 使った後は固形燃料の燃えカスをきれいに掃除してください。
- 固形燃料を2個以上同時に使用して燃焼させると異常燃焼し、大変危険です。あらかじめテストを行い沸騰・調理加減を確認し、1個で最適な燃料サイズを選んでください。
- 燃料サイズを変更する時、メニューが新しくなった時や鍋やコンロを変える時は事前にテストし、異臭や目痛が発生しないか確認してください。あるいはメーカーに相談してください。
- 料理に必要な熱量は、気圧・気温・水温・器具・具の種類や量などにより異なります。



◆製品に関するお問い合わせは購入店、または下記までお願い致します。



株式会社 ニチネン

【お客様相談室】 ☎ 0120-551-256

受付時間: 月曜～金曜 9:00～17:00  
〔祝日、弊社休業日を除く〕

第2類引火性固体  
(固形アルコール)  
危険等級Ⅲ  
**火気厳禁**

※本紙は製品を安全にご使用いただくための情報を提供するものです。小分け販売される場合には本紙コピーを同梱していただきますようお願い申し上げます。

※これらの印刷物は予告なく変更する場合がございます。

安全にご使用いただくため、内容を随時精査していくものですので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用によりお客様の被る損害については責任を負いかねますのでご了承ください。



# 固形燃料、液体燃料の消防法に基づく貯蔵量について

## 固形燃料は「危険物第2類 引火性個体」に該当し、指定数量は1000kg

- 1000kg以上貯蔵する場合 → 消防署の**許可**が必要で貯蔵所は法指定の基準が必要
- 200kg(指定数量の5分の1)以上貯蔵する場合 → 消防署への**届出**が必要
- 200kg(指定数量の5分の1)未満貯蔵する場合 → 届出の必要なし

## 液体燃料(ジエチレングリコール)は「危険物第4類 第3石油類」に該当し、指定数量は4000ℓ

- 4000ℓ以上貯蔵する場合 → 消防署の**許可**が必要
- 800ℓ(指定数量の5分の1)以上貯蔵する場合 → 消防署への**届出**が必要
- 800ℓ(指定数量の5分の1)未満貯蔵する場合 → 届出の必要なし

## 液体燃料(アルコール)は「危険物第4類 アルコール類」に該当し、指定数量は400ℓ

- 400ℓ以上貯蔵する場合 → 消防署の**許可**が必要
- 80ℓ(指定数量の5分の1)以上貯蔵する場合 → 消防署への**届出**が必要
- 80ℓ(指定数量の5分の1)未満貯蔵する場合 → 届出の必要なし

### 許可／届出の計算方法

■ 各種を取り扱う場合は、各々の区分の指定数量に対する貯蔵量の比率を計算し、合計が0.2(5分の1)以上1未満の場合は消防署への届出、1以上の場合は消防署の許可が必要になります。

#### 計算例

液体燃料(ジエチレングリコール)6時間用(255g、24個入り)を10ケース、固形燃料25g(320個入り)を10ケースを倉庫に貯蔵保管する場合。液体燃料は合計61.2kg、固形燃料は80kgになる。

$$\begin{aligned} &\rightarrow 61.2 / 4000 + 80 / 1000 \\ &= 0.0153 + 0.08 \\ &= 0.0953 \dots \end{aligned}$$

**許可及び届出の必要なし**

■ 消防法による取り扱い、自治体の条例により若干異なることがありますので、所轄の消防署に確認してください。

